

中道研だより

令和3年 秋号

京都市立中学校教育研究会

道徳部会

連絡先 阿部（桃陵中）

秋を感じる季節になりました。皆様、お変わりないでしょうか。京都に出されていた緊急事態宣言が解除となりましたが、多くの場面で、いましばらく我慢が必要な毎日です。学校行事は実施方法が変更になったり、中止になったりして、計画の変更を余儀なくされています。少しずつ、本来の学校生活が取り戻されていくことを願うのみです。

1 GIGA スクールに対応した授業づくり②-1人1台端末の活用法ー

道徳の授業での端末活用をいくつか紹介します。（1年生の教材を軸に紹介します）

◆Forms を活用して事前アンケートをし、導入でアンケート内容を紹介

例) 「朝市の「おはようございます」」あいさつは大切か、なぜそう思うか

「自分の性格が大嫌い!」自分の長所と短所とは

◆検索サイトを用いて、教材に出てくる「ワード」検索して概要を捉える

例) 「山岳民族の文化を守る」バリンビン、カリンガ族、パコット、ルソン島などを4人で調べ合いで紹介

◆ロイロノート、Teams を用いて意見交流

特にロイロのシンキングツールは、はじめと終わりで変更させて比較することができ、自分の考えを比較したり、皆の意見を一斉にみることができると一覧性があります。普段、声に出して意見を言いつらい生徒やじっくり意見を考える生徒などの意見など1人ひとりの意見を全員で共有できます。Teams のチャットを用いるとリアルタイムでやりとりできますが、同じ教室内だと目の前で交流するほうがよいと感じます。（リモートでの授業や、他クラスや他校との交流においては便利）

◆生徒の感想や授業ログを管理できる

小中連携で小学校の先生に教えていただいた授業ログの残し方⇒授業後に板書を撮影し、ロイロのその日の「ノート」に保管。生徒の感想もともに保管しておくことで授業ログが残り、学期の振り返りや次年度の引き継ぎなどにも利用できます。

端末の活用を進めながらも、教材研究や生徒の観察（変容を見逃さない）など、これまでと同様に行うことも忘れてはならないと感じています。

<嘉楽中・天谷>

2 ローテーション道徳のススメー0JT の視点からー

ローテーション道徳は、①当該学年の全教員がそれぞれ教材を1つ担当し、その教材を持って順番に学年内の各学級を回って授業を行うパターン②毎回の教材は決まっていますが、授業者だけがローテーションするパターンなどがあります。どちらかという①のパターンが多いかと思います。

このパターンは、1つの資料とじっくり向き合い、調整しながら複数回の授業を行うことができるので、授業者は教材分析、発問の仕方、授業展開について自分なりに考えていくことができます。また授業の担当ではない時は授業を参観したり、T2として授業に参加したりすることが可能になります。これは0JTの視点に通じるものがあります。

授業者である教員が「うまくいかなかった」「時間が足りなかった」などと振り返るだけでなく、参観者である教員からのコメントを受けて、どの部分をどのように変えていけばいいのかを知ることができます。逆に、知識・経験の豊富な教員の授業を、経験の浅い教員が見ることもできるので、実践的なスキルを学ぶことができます。

積極的にお互いの授業を見ることのできる機会を有効に活用して、楽しみながらローテーション道徳を行っていきたいです。

<久世中・松比良>





ひよこのつぶやき コーナー

授業で生徒が書いた感想などを、どのようにクラスや学年で共有しておられますか？また、道徳の授業に関する掲示物は、どのようなものを作っておられますか？授業で使った場面絵や登場人物の言葉、授業者が終末で使った格言や名言など、授業が終わって廃棄するのは、もったいないと感じています。みなさんのアイデアや経験を勉強させていただきたいです！

＜洛西中・福井＞



3 道徳教育 × SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



多くの教科で SDGs との関連が深い教材が取り入れられていますが、西賀茂中の3年生も「SDGs について深く学ぶ」を1年間のテーマとして取り組んでいます。まずは、総合的な学習の時間に、2030年までに目指す17の目標（ゴール）の中から、クラス内2~3人グループでテーマを決め、日本や企業の取組について調べ、ロイロノートを使って発表を行いました。

また、道徳の時間では、新しい道徳3_p144「その子の世界・私の世界」を扱い、「フェアトレードチョコレート」の背景にある「その子の世界」と「私たちの世界」の違いを考えました。アフリカにおける課題だけでなく、谷川俊太郎さんの「そのこ」という詩にも触れ、自分たちと変わらない年齢の子どもたちの現状を知り、それぞれの心で受け止めている様子が見られました。

この授業のテーマ（C-18 国際理解）は、SDGs 目標の16項目目「平和と公正をすべての人に」にあたるだけでなく、1「貧困をなくそう」2「飢餓をゼロに」4「質の高い教育をみんなに」10「人や国の不平等をなくそう」にも通じます。総合的な学習の時間に SDGs に取り組んでいる最中であった生徒たちは、これまで以上に興味をもって道徳の授業に臨んでいたように感じます。

後期に入り、「命」「生き方」に関するテーマを扱う道徳の授業を計画しています。その時に、総合的な学習の時間を通して学び、仲間の発表を聞いて得た SDGs の知識を、生徒が生かしてくれることを期待しながら、指導案を考えています。

＜西賀茂中・信夫＞



1 第63回 京都市中学校弁論大会のお知らせ

今年度も、京都市中学校総合文化祭の一環として、京都市中学校弁論大会「語ろうよ、あなたの心を」が開催されることとなりました。生徒

たちが普段の生活の中で感じ、考え、学んだことを語る、すばらしい大会になることと思います。参加校の先生方はもちろん、そうでない学校の先生方も、ぜひお越しください。

◆日時：11月6日（土）13時～15時

◆会場：京都市総合教育センター永松ホール

（※会場での感染防止対策にご協力ください。観覧席は1校10名程度までとさせていただきます。）

2 夜の学習会

中道研では例年、「夜の学習会」を開催し、授業づくりについてのワークショップを行っています。本年度は、冬頃に開催できるよう、現在企画中です。このコロナ禍でも先生方が情報共有をし、新たな学びを得られる場となればと考えています。

＜七条中・藤原＞

